

広報

どうし

道志村民憲章

私たちの七里は、緑と清流と歴史の郷です。この地に生きること誇りをもち、平和な村を築くため、ここに憲章を定めます。

私たちは

- 一、自然を愛し平和な村をつくれます。
- 一、生産に励み豊かな村をつくれます。
- 一、伝統を重んじ、教養を高め、文化の村をつくれます。
- 一、人情といたわりの心を養い、福祉の村をつくれます。
- 一、明るく健康で、活力ある村をつくれます。

2006 February 2月号



中学校生活あと一年がんばります

一般会計補正予算及び特別会計補正予算など可決

平成十七年十二月議会定例会は十二月十三日から十六日まで四日間の会期で開催されました。本会議におきましては、条例改正他一般会計、特別会計等、十一議案に対しいずれも原案どおり可決いたしました。

議案第七十二号 道志村税条例の一部を改正する条例

議案第七十三号 道志村個人情報保護条例の全部を改正する条例

議案第七十四号 山梨県東部広域連合の規約中変更の件

議案第七十五号 中央市の設置並びに中道町及び上九一色村の区域の一部を甲府市に編入すること並びに上九一色村の区域の一部を富士河口湖町に編入することに伴う山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

議案第七十六号 小淵沢町を北杜市に編入することに伴う山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

議案第七十七号 甲府市、中道町及び上九一色村区域の一部の合併に伴う山梨県市町村総合事務組合の財産処分について

議案第七十八号 平成十七年度道志村一般会計補正予算（第六回）

議案第七十九号 平成十七年度道志村国民健康保険特別会計補正予算（第四回）

議案第八十号 平成十七年度道志村簡易水道事業特別会計補正予算（第三回）

議案第八十一号 平成十七年度道志村観光施設等事業特別会計補正予算（第四回）

議案第八十二号 平成十七年度道志村介護保険特別会計補正予算（第一回）

一般質問

十二月議会定例会において一名より一般がありました。質問の趣旨とこれに対する村長など執行部の答弁の趣旨は次のとおりです。

経済建設常任委員

山口 達夫



一 道志川の美化ボランティアの受け入れについて

去る十一月二十七日に横浜市で「豊でおいしい水を未来まで」「横浜市民の手で水源の森を守ります」とする内容のシンポジウムが開催され、村長もパネリストとして出席していました。

このシンポジウムに私も参加し、主催者の中田市長のあいさつにおいても水源地の大切さを痛切に感じ、また、村長、金近水道局長を含めて四人のパネリストによるディスカッションにおいて、現在、村内で行われている森林ボランティアによる間

伐等も話題となり、参加者は当初の予想していた人数の十倍以上の申し込みがあり、横浜市民が、いかに道志川の水を貴い水として必要としているかについて感じました。そこで、今後は森林ボランティアによる森林整備の手伝いだけでなく、水質を保全するための道志川の美化活動についても協力を依頼できないものかと考えます。

そして、このような活動が行われる時には、道志村としての受け入れ態勢をどのように考えるかお聞かせください。

二 農産物販売対策、農業後継者の育成について

現在、農地の遊休地は年々増加しているものと思われまます。その状況下において、道の駅に出荷している生産者によるものが、多少ではあります。歯止め対策となつておられると思いますが、現在、出荷している生産者は平均年齢六十五歳以上の人が頑張つていますが、数年後を考えると、今のような地元産の野菜や漬物等を求めて来てくれる客層に対応していただけるか、また、年間を通して出荷できる野菜作りや後継者育成などの問題があります。

そこで、村内での農産物の生産拡大、

農産物の出荷及び販売対策、農業後継者の育成等について、行政の考え方をお聞かせください。

●大田村長

「道志川の美化ボランティアの受け入れについて」のご質問でございますが、去る十一月二十七日に横浜市で開催されたシンポジウム「豊かでおいしい水を未来まで」では水の大切さが参加者に伝わり、改めて森林ボランティアの役割の重要性を再認識したわけでございます。

そして、皆様ご承知のとおり道志村は合併せずに単独存続が決定しており、厳しい財政事情の村にとつて横浜市からの各種ボランティアでの支援は願ってもない事だと考えております。

現在までの横浜市民の皆様による河川清掃への参加状況は、平成五年から「水と緑の防衛隊」延七二〇名、平成九年からの「市職員新任研修」延二〇〇名となっております。

収集されたゴミも推計延二トンと思われ、道志川の水質保全にとり大きな効果がでている事は揺るがない事実でございます。心から感謝をしております。

今後、森林ボランティアの皆様におかれましては道志川の美化活動にご協力願えるのであれば、大変にあ

りがたい事ですし大歓迎でございます。

道志川の美化ボランティアの皆様への受け入れの件につきましては、ゴミ処理に関係する経費を予算措置する事も必要となりますので、道志村漁業協同組合等の各種団体と連携し、熟慮する中で前向きに受け入れ体勢を整えていきたいと考えております。

●産業観光課長

二番目の質問ですが農山村をマクロ的に視ると、食料等の生産の場のみならず、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の継承等々多面的機能の発揮の場として重要な役割を有していることから、地域住民の生産・生活の場としてはもとより、都市住民にも開かれた国民共有の財産として次世代に継承していく必要があります。

今年三月政府は、食料・農業・農村を取り巻く情勢の変化などを踏まえ、五年前に策定した基本計画を見直し、今後重点的に取り組むべき課題や施策を明らかにする新たな「食料・農業・農村基本計画」を策定し、従来の品目別の価格・経営安定対策を中心にした政策から、集落営農を含めた意欲と能力のある担い手の経

営を支援する政策へと見直されたところであります。

また、山梨県におきましても「やまなし農業・農村活性化ビジョン」を策定し、首都圏に近いという立地条件を生かした農業の振興と、新鮮で安全な農産物の提供をはじめ、収益性の高い農業経営体の育成を推進しているところであります。

さて、道志村の農業を視るとき、傾斜地が多く、狭くやせた耕地、短い日照時間、高齢化、担い手不足等々、道志村の農業を取り巻く環境は非常に厳しく、多地域に比べて非常に厳しい農業の立地条件下に置かれていると思われま

す。今後の道志村内における農業振興の方向性として検討することとしては、都市住民との友好・交流の増大によりま

す。遊休農地を生かした体験農業、体験林業などの体験学習型農林業の振興を図ること、農業生産体制も減農薬、減化学肥料栽培等を導入した環境保全型農業の推進を図ること、さらには、クレソン等の特産品のブランド化を進めるためにも組織の再構築、販路の一本化、新規参入者の支援、農業コーデイネーターの設置等も考えられると思

います。また、農業生産物に付加価値を付けた加工品の開発、新規作物の導入

やハウスを活用した既存作物の栽培・作期の拡大により、特に葉物の少ない冬季栽培も推進し、四季に亘る安定的出荷体制を進めることなどがあげられます。

いづれにしましても、道志村における農産物は、生産量、出荷量とも市場競争が難しいので、販売の戦略としましては、地産地消の推進の面からも、道の駅どうし等を中心とした販売が主力であるだろうし、農業後継者の育成は誠に難しいこともあります。

当面は男女を問わず団塊の世代のリタイア組に頑張っていたとか、それから現在農業委員にお願いしております農地の貸し付け意向調査の結果を踏まえ、都市住民やNPO法人への農地貸付け、地域毎の共同営農の推進によりまして農地の保全、活用を図ることも方策の一つだと考えられます。

農業が元気でないと地域に活力は生まれないとよく言われますが、何と言つても農業振興は、組織力・生産力・意欲が基本であることから、地域住民と農業団体、行政とが一体となりまして協働して農業の推進にあたる事が必要だと考えております。議員各位に置かれましても農業振興に益々のご理解とご協力をお願い致します。答弁といたします。

平成18年 道志村消防団出初式



平成十八年一月九日道志村民グラウンドを会場に道志村消防団員 一九七人の参加で、新春恒例の道志村消防団出初式が開催されました。

佐藤和彦総指揮官の号令により規律ある分列行進、池谷高明団長の訓示、大田村長挨拶・新入団員代表の山元智司さんの力強い宣誓がおこなわれました。

今年度の感謝状と表彰がおこなわれた後、機械器具点検及び服装点検をおこない、小型ポンプ操法を第二分団第一部と第四分団第一部の団員が寒中の中での訓練の成果を披露されました。

来賓の挨拶を山梨県消防協会会長さんを始め、県議会議員、村議会議長さん等にいただきました。消防団活動が今後火災、自然災害等あらゆる災害から大切な住民の生命、財産を守るために、関係機関との連携を図り住民が安全、安心な住みよい地域で暮らせるよう、消防団活動事業に期待します。

平成十七年度の表彰者は次のとおりです。

感謝状の贈呈

山梨県消防協会感謝状

①退職団長感謝状 大田 博文
(平成十七年三月三十一日)

②火災早期発見者 加藤み勢子
(平成十六年十二月十三日)

③火災早期発見者 渡辺 英勝
(平成十七年七月十日)

④火災早期発見者 徳重 文雄
(平成十七年七月十日)

表彰

山梨県消防協会会長表彰

甲種功労章

水越正明

乙種功労章

水越嘉光、佐藤英樹、山口正信

山口主徳、池谷寿男、長田州弘

山梨県消防協会東部支部長表彰

支部長表彰

佐藤利一、佐藤隆秀、山口直仁

杉本善美、佐藤正夫、水越一光

山梨県富士北麓・東部地域振興局長表彰

消防功労者

佐藤益弘

都留警察署長及び山梨県防犯協会都留支部長表彰

杉本明美、佐藤勇二、佐藤万寿人

佐藤建蔵、水越嘉光

道志村長表彰

特別功労賞(三十年勤続)
大房保夫

道志村消防団長表彰

永年勤続章(二十年勤続)
出羽達彦、佐藤英樹

勤続章(十五年勤続)

佐藤建蔵、湯川和則、佐藤貢三
山口哲央、山口勝二、志村真樹
佐藤 進、佐藤明仁、佐藤敬章
山口時彦、池谷芳彦、水越克伸

優良章(十年勤続)

佐藤義幸、菅谷勝己、池谷慎司
杉本和也

精勤章(三年勤続)

佐藤靖行、杉本正人、山口 昇
山口博信、渡辺和貴、佐藤友和
杉本 稔、杉本純哉、杉本高一
池谷修一、長田 聡、柏村承徳
水越彦衛

平成十七年度 新入団員

山本智司、山口洋久、加藤源正

祝 成人おめでとう



杉本麻里さんから誓いの言葉

平成十八年一月八日道志村中央公民館において道志村成人式が開催され成人を迎えられた三十三名の新成人の門出を祝いました。式典では多数の来賓を向かえ新成人の紹介、大田村長の式辞をはじめ来賓の皆さんから新成人となった方に祝福のことばが送られました。

又、善之木地区の杉本麻里さんが新成人を代表として誓いのことばを述べられました。新しい時代を担う若者としての決意と自信に満ち溢れ会場から祝福の拍手が贈られました。祝賀会においては、ノンアルコールのシャンペンで乾杯し、新成人の皆さんの幼少時代の時からの写真が上映され、会場からは懐かしい映像に笑いと歓声が上がりました。成人式も厳粛かつ盛大におこなわれました。



道志溪谷く山中湖畔く忍野八海 駅伝競走大会の開催



開会式

第十九回新春の富士山麓を走る道志溪谷く山中湖畔く忍野八海駅伝競走大会が、一月八日道志村役場前において開会式が行われました。今年、十五チームが参加し、主催の南都留陸上協議会流石会長挨拶をはじめ、道志村長等から挨拶をいただき、都留第二中学校の飯島崇弘さんが、選手宣誓をおこないました。

午前十時大田村長の号砲の合図で役場前をスタートをしました。中学生、壮年、一般の各部門により忍野村役場をゴールとする五区間



スタート

沿道でのご声援ありがとうございました。

優勝

で競いました。今回の優勝チームは次のとおりです。

- 一般男子 桂高等学校A
- 一般女子 桂高等学校A
- 中学校男子 都留二中A
- 中学校女子 都留二中

育児教室からお知らせ

寒い季節こそ、子ども達と一緒に室内遊びをしましょう。下記の日時と場所で実施していますので、ぜひお出かけください。

※対象者 保育所入所前のお子さんと保護者

2月の予定です

日時 2月 7・14・21・28日 午後2時～4時まで
場所 福祉センター
お願い 遊んだ後はみんなで一緒に片づけをしましょう。

2月21日は育児教室で【キッズヨガ】の体験をしてみませんか？

ヨガは大人だけ・・・と思われていませんか？「キッズヨガ」は、簡単なヨガのポーズをしながら、柔軟性を高め、親子のコミュニケーションを図る事も出来ます。ぜひご参加ください。

参加申込みは、2月14日までに・・・

役場住民健康課 母子保健担当の山口までお待ちしております。

TEL 52-2113 (内線 120)

